



種差海岸インフォメーションセンター 及び休憩所



種差海岸地域(種差海岸階上岳県立自然公園及びその周辺)は三陸復興国立公園の北の玄関口として位置し、種差海岸地区は、種差海岸地域を代表する景観であり、多くの人びとが来訪する地区です。国立公園来訪者の利用拠点施設として、種差の自然の素晴らしさやその他の情報提供、公園利用におけるルール・マナーの啓発を目的として、環境省東北地方環境事務所がインフォメーションセンターを新設、八戸市が休憩所を新設し、平成26年に竣工しました。

外観は、種差海岸の景観に相応しい地域材を利用した切妻屋根と下見板の外壁の平屋の建物としています。大きなガラス窓からは、種差海岸の独特の海岸の風景を眺めることができ、自然・暮らし・地域の旬の情報も得られる施設です。展示空間では自然や地域の文化を伝えるほか、レクチャールーム、中庭(体験活動エリア)、トレイルインフォメーションなど各種のスペースを設けています。

現在は、「いざなう場」、「生み出す場」、「伝え育む場」、「つながる場」の4つのコンセプトのもと各種解説案内や体験プログラムなどの事業が展開されています。また、隣接する休憩所も多くの人びとに利用されています。

いずれの施設も、ユニバーサルデザインに配慮した、明るく使いやすい施設です。

■共通 〈所在地〉青森県八戸市鮫町大字棚久保、字中道地内 〈敷地面積〉9,067.42㎡
〈用途地域及び地区指定〉市街化調整区域

■インフォメーションセンター

〈発注者〉環境省東北地方環境事務所
〈建物用途〉案内所
〈建物構造〉木造 平屋建
〈延床面積〉センター 400㎡、屋外トイレ:50㎡
〈諸室〉センター常設展示場、休憩スペース、レクチャールーム、事務室、事務室、倉庫、用具庫、トイレ

■休憩所

〈発注者〉八戸市
〈建物用途〉休憩所
〈建物構造〉木造 平屋建
〈延床面積〉115㎡程度
〈諸室〉休憩コーナー(売店あり)、厨房、事務室兼休憩室、倉庫、更衣室、トイレ



インフォメーションセンター



休憩所

